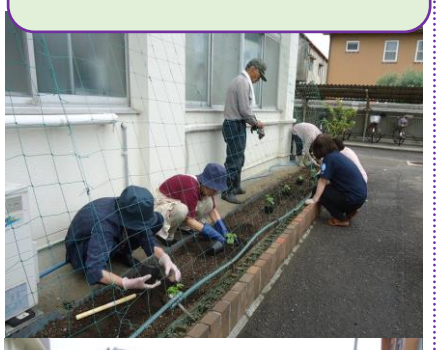
環境にやさしいまちづくり「グリーンカーテン」＆「園児と花植え」



５月28日に「グリーンカーテン」、６月４日「園児と花植え」を行いました。今年はお天気にも恵まれ、ゴーヤもマリーゴールドも無事植えることができました。

若宮保育園の皆さん、お手伝いしてくださった地域の皆さん、本当にありがとうございました。

その後、「めばえっこ」の子どもたちが、百日草の苗をマリーゴールドの奥に植えてくれました。地域の皆さんのおかげで、花と緑に囲まれて、毎日、優しい気持ちで過ごすことができます。

趣味と教養「藍染教室」

Ｔシャツ

ストール（シルク）

６月20日の「藍染教室」では、自由に自分の好きなものを染めて楽しみました。出来上がりは皆さん笑顔で大満足!!

〝世界にひとつ〟の作品の数々は、11月17日の「文化祭」で展示しますので見てくださいね。

「惣開小 町たんけん」

６月６日、惣開小２年生、２チームが「町たんけん」で若宮公民館に来てくれました。各お部屋を回りながら、みんな熱心に説明をきいて、メモをしていました。「こうみんかん」のこと少しわかったかな？これからもいつでも「わかみやこうみんかん」に来てくださいね！

ペットプラスチーム

びょういんチーム

7月の行事予定表

２日（火）	子育てサロン
５日（金）	保育園七夕まつり
11日（木）	防災講習会
	公民館運営審議会
	青少年健全育成協議会
16日（火）	子育てサロン(プール)
19日（木）	小女郎たぬき踊り・盆踊り
20日（土）	新田夏祭り
23日（火）	若宮地区連合自治会
25(木)26(金)	夏休み宿題教室
30日（火）	まちづくり校区懇談会

６月18日付「愛媛新聞」の記事です。皆さん、ご覧になりましたか？若宮小学校は、閉校後も管理人さんお二人によってきれいに守られています。

６月20日には、パブリックコメントの受付も終わり、いよいよ新しいみんなの施設に向けてスタートです。大切な若宮小学校の未来を、一緒にしっかり見守っていきましょう！

廃校後も美しく

新居浜・若宮小

元用務員２人 丁寧に管理

子どもたちの声もチャイムの音も聞こえなくなった新居浜市新田町１丁目の若宮小学校。廃校となって１年以上たつが、子どもたちがいた時と変わらぬ姿を保っている。若宮小の元用務員で現在は管理人の梶原伸清さん(66)と秋山順子さん(65)が、地域に明かりをともしている。

若宮小の閉校後も管理人として校舎の美化を守り、花の世話をする梶原さん(左)と秋山さん

「子どもたちがいなくなって、誰かのためではなく自分が納得できるように毎日の仕事を続けている」。梶原さんは寂しげに語る。

若宮小は2018年3月の閉校後、市生涯学習センター若宮学習館として市教育委員会が管理しており、校舎などの具体的な活用計画は策定中だ。旧校舎や体育館の利用は1カ月で10日間ほど。人の出入りは少ない。

2人は管理人として、以前と変わらず週5日勤務する。業務内容は校舎や敷地内の「維持管理」。明確な基準はないが、使われなくなった部分が大半になった今も、小まめで丁寧な手入れを欠かさない。

事務室周辺やロビー、トイレの掃除…。道路沿いにあるクスノキの落ち葉は、時季によって1日で70㌔㌘のごみ袋が3、4個になる重労働だ。何も育てていない学級菜園はきれいに草刈りされ、玄関のプランターには色とりどりの花が咲く。

掃除草刈り 玄関に花

閉校直後は校庭の一部に、たばこの吸い殻やごみの放置があったという。秋山さんは「小まめに掃除をしていたら最近は減ってきた」と感じている。隣接する若宮公民館の久保弥生館長は「子どもたちがいなくなっても熱心に掃除を続けてくれて、ありがたい存在」と感謝する。

用務員として梶原さんは約4年、秋山さんは約2年勤務した。教員や児童の登校前から校内を掃除。こまごまとした修理などに加え、卒業式やイベント給食にも参加していた。「張り合いはなくなったな」と梶原さん。

ふと、思い出すのは3年前の卒業生からもらった「毎日きれいに掃除をしてくれてありがとう」の言葉だ。「見てくれている子は見てくれていると思うと、うれしいもの」と目を細めた。静かになった校舎をきょうも黙々と歩く。

（梅林恭子）